

【お知らせ】12月から1月の対応と年末年始の休業について

都合により、2023年12月1日から2024年1月31日までの間、博物館の業務の内容(団体見学の受け入れ・お問い合わせへの回答・発行物の郵送)を通常と変更させていただきます。

また、2023年12月29日から2024年1月5日までの間は冬季休業期間とさせていただきます。

ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいますようお願いいたします。

詳細は下記のページをご参照ください。

■【お知らせ】12月から1月の対応について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231124-1.html/>

■【休館情報】年末年始の休業日について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231124-2.html/>

【活動日誌168】小学生による団体見学を受け入れました

先日は境南小学校に通う2年生の皆さんが、学校の授業で博物館の見学に来てくださいました。生活科の授業の一環で担任の先生と生徒の皆さんが街歩きをしていた際に本学の近くを通り、本学に興味を持たれたそうです。

当日の解説は本学で行われている教育や研究の内容の説明から始まりました。「獣医さんは何をする人か知っている？」の呼びかけに「動物の病気を治す人！」「動物園でも働いてる！」と元気に答えてくれましたが、獣医師の中には私達人間が普段口にする家畜や魚を診ることを仕事としている人もいと伝えると驚きの声が上がりました。次は本学が持っている「宝物」として、キリンの骨格標本を紹介しました。迫力のある姿に驚いたようで「夜になったら動き出しそう！」「これって恐竜？」といった感想を聞くことができました。最後に自然系展示室を案内し、武蔵野市でも目撃する可能性がある動物として、タヌキ・アライグマ・ハクビシンを紹介しました。3種の見分け方をまとめたワークシートを配布したところ、とても熱心に取り組み、素敵な塗り絵を完成させていました。

現在は団体見学の受け入れを一時的に停止しておりますが、通常は今回のような学校の授業の一環としての博物館の見学も受け入れています。2024年2月から団体見学の受け入れを再開する予定となっておりますので、興味のある方は博物館にお問い合わせください。

(学芸員 石井)

#社会連携 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

団体見学については「来館案内」ページの「団体見学のご予約について」部分をご参照ください

■【お知らせ】12月から1月の対応について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231124-1.html/>

団体見学の受け入れ停止についてはこちらの記事をご確認ください



- ① モーモーベンチの前で大学の紹介をしている様子。
- ② キリン「長次郎」の骨格標本を見た子供たちに解説している様子。
- ③ 自然系展示室で子どもたちが剥製を観察している様子。剥製の前にしゃがみ込み、目線を合わせてじっくり観察してくれました。
- ④ アライグマの剥製を観察している様子。子どもたちは持参したボードを活用しながら、それぞれが剥製の塗り絵を書িয়েくれました。
- ⑤ 完成した塗り絵の例。
- ⑥ 一号棟の入口で最後に質問などを受けている様子。

【お知らせ】附属博物館 第1回企画展を開催しています

日本獣医生命科学大学附属博物館では、第1回企画展「日本獣医生命科学大学附属博物館 第1回企画展 キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」を開催しています。

当館が活動拠点としている本学一号棟は学内に現存する建物の中で最も古い校舎であり、2階には当館が開館する2015年(平成27年)よりも前からキリンの全身骨格標本が展示されています。最近までこの標本の来歴は不明とされていましたが、調査の結果その正体が「長次郎」と名付けられたキリンであることが明らかになりました。

この展示では上野動物園から始まった日本におけるキリンの飼育の黎明期を振り返りながら、長次郎が歩んできた歴史を紹介します。

【会期】

2023年11月3日(金)～2024年5月31日(金)

【開館情報】

- ・開館日時 火曜日～土曜日 10:30～17:00(最終入館および物販は16:30まで)
- ・休館日 日曜日・月曜日・祝日、年末年始、大学の定める休日(その他臨時休館あり)
- ・入館料 無料
- ・入館方法 事前予約制

※事前の告知なく開館日時や休館日、入館方法等が変更となる場合がありますので、ご来館前に必ず「来館案内」をご確認いただき、ご来館の際は来館案内ページ内にある「個別見学予約フォーム」または「団体見学予約フォーム」から事前にご予約をくださいますようお願いいたします。

【会場】

日本獣医生命科学大学附属博物館
2階 自然系展示室(ワイルドライフ・ミュージアム)

■企画展の詳細

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231023-01.html/>

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

【活動日誌169】館長による子供向け講座が開催されました

当館が社会連携事業の一環で協力している武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館では、小学5年生から中学3年生までのお子さんを対象とした考古学講座が開催されています。先日開催された今年度の第4回の講座に、当館の館長が講師として参加しました。

この講座では考古学の専門家が自身の研究について解説を行います。先日の当館館長による講座では、「古代人はどうやってシカを捕獲したのか？～狩猟動物の生態や捕獲技術を学ぶ～」をテーマに、野生動物の専門家としての立場からニホンジカの生態について解説を行いました。解説の後半では武蔵野市内で見つかった狩猟用の落とし穴の遺跡の構造を紹介し、参加した子どもたちには実際に縄文人がどのようにシカを捕獲していたのかを考えてもらいました。

当館と武蔵野ふるさと歴史館は2018年から連携を続けており、11月19日には歴史館が開催するワークショップに当館のスタッフが講師として参加しました。その様子は博物館webサイト「博物館ニュース」よりご覧いただけますので、よろしければ下記リンクからご覧ください。

(学芸員 石井)

#社会連携 #環境教育 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■武蔵野市 令和5年度子ども考古学講座「考古学へのはじめの一步」《後期》

<https://tinyurl.com/3nrw8kek>

講座の詳細は武蔵野市のサイトをご参照ください。

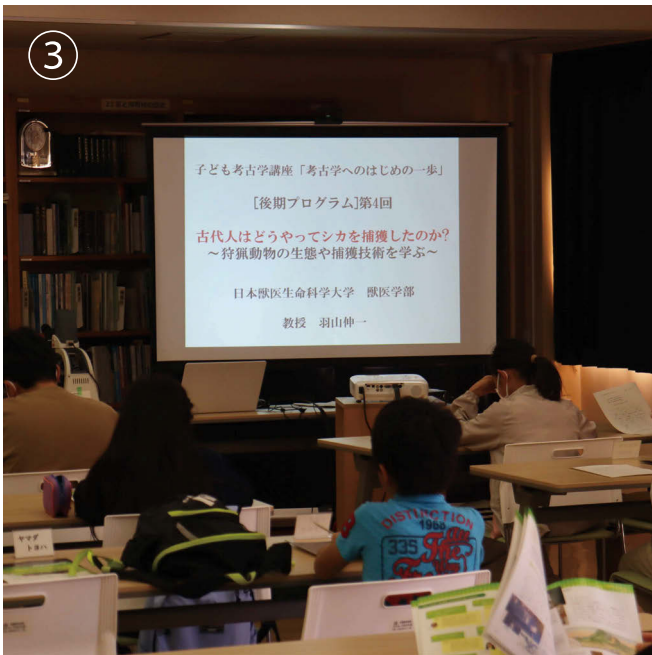
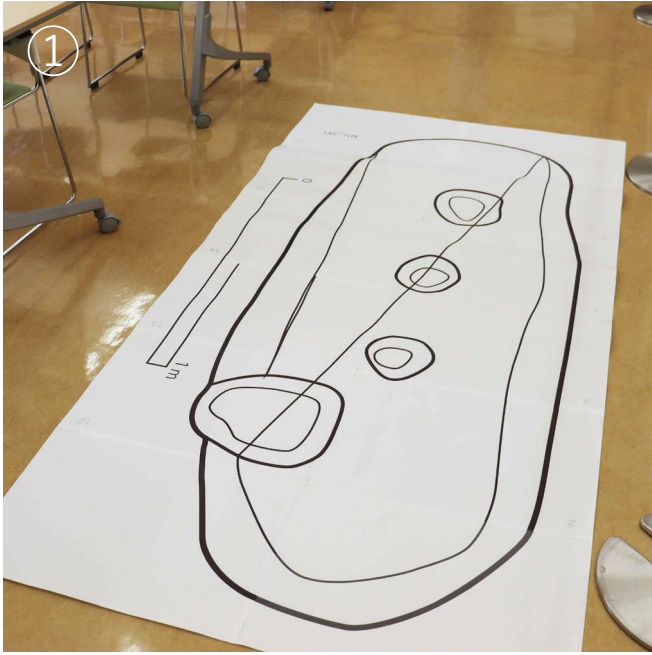
※参加申し込みは終了しています

■【活動報告】「武蔵野動物観察隊4 野鳥の羽でグッズ作り」に講師として参加しました

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231206-01.html/>

11月19日のイベントの詳細はこちらをご参照ください。

2023年12月14日の記事



- ① 歴史館のスタッフの方に実寸大の落とし穴の印刷物を用意してもらいました
- ② 当館から資料としてニホンジカの頭蓋骨3点を持参しました
- ③ 講座の様子
- ④ 実寸大に印刷した落とし穴の構造を見ながら、どうやったらシカが落とし穴に入るのかを考えました

2023年12月16日の記事

【お知らせ】ワークショップの報告を掲載しました

大学公式サイト内の博物館ニュースのページに11月に実施したワークショップ「武蔵野動物観察隊4 野鳥の羽でグッズ作り」の報告を掲載しました。

当日の様子を写真つきで詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。

#社会連携 #環境教育 #教育普及 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動報告】「武蔵野動物観察隊4 野鳥の羽でグッズ作り」に講師として参加しました

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231206-01.html/>

報告はこちらからご覧いただけます

■【活動日誌167】ワークショップ「武蔵野動物観察隊4 野鳥の羽でグッズ作り」に講師として参加しました

<https://tinyurl.com/4fcsja3c>

当日の様子速報はこちらからご覧いただけます

【活動日誌170】動物形態学実習

博物館は、学内での授業や実習での博物館の展示室の活用や、博物館資料の貸出等を行っています。先日、獣医保健看護学科1年生の動物形態学実習で、博物館の自然系展示室を活用したいというお申し出を受け、合計101人の学生に実際に実習で使っていただきました。

実習では骨格構造の理解のために、展示剥製から「哺乳類の歩行様式3タイプ(蹠行性・趾行性・蹄行性)の違いがわかるように後ろ脚をスケッチする」という課題、そして現在ちょうど本学所蔵のキリン骨格標本「長次郎」にまつわる企画展が開催されていることから、企画展の感想レポートも課題に出され、学生たちはとても熱心に展示室を見学してくれました。

当館の展示は、学内では主に学芸員課程の講義や実習を中心に活用していただいておりますが、今回のような本学の学生を対象とした実習でもぜひご活用いただきたいと考えております。実習や講義での利用をご希望の方はぜひ博物館スタッフにご連絡ください。

(スタッフ 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 中型哺乳類の展示エリアで剥製の足を観察している様子。
- ② 企画展エリアの展示の様子その1。実習中なので多くの学生が白衣を着用しています。
- ③ 企画展エリアの展示の様子その2。レポート作成のため、多くの学生が熱心に写真を撮っていました。自然系展示室では企画展の一部の資料を除き、学生が撮影していたパネルを含めて、ほとんどの資料で写真の撮影が可能です。

【フォロワー 130人記念】

当Facebookページのフォロワーが130人となりました。みなさんの当館の活動へのご理解・ご協力に心からお礼申し上げます。

これを記念して、今回は本学が創立130年を記念して発行した複数の冊子をまとめてご紹介させていただきます。

まずご紹介するのは、本学が発行した「日本獣医生命科学大学創立百三十年記念小史」です。この本はその名の通り、本学の最初の姿である私立獣医学校が創立された1881年（明治14年）から130年が経過したことを記念して2011年に発行した書籍です。

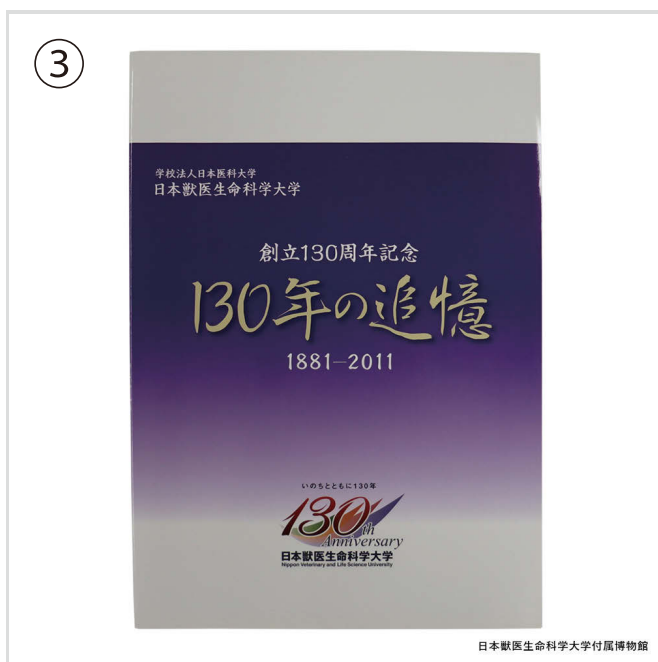
フォロワー 100人記念でご紹介した「日本獣医畜産大学百年史」よりもコンパクトなA5サイズ・442ページの冊子ですが、本学の130年もの歴史の概略がきちんとまとめられており、読みやすく作られています。博物館では、大学史に関するできごとの概略をチェックするために最もよく活用しています。

130周年ではこの記念小史のほかに、「日本獣医生命科学大学創立百三十年記念誌」および「日本獣医生命科学大学創立百三十年記念誌 日本獣医生命科学大学 教育年表」の2冊と、「日本獣医生命科学大学創立130周年記念 130年の追憶」も発行しています。記念誌の方では本学の学部・学科の概略に加えて各研究室や付属施設、関連組織や委員会等の概略が紹介されており、また教育年表は明治期以降の国と本学の教育に関わる出来事を年表の形にまとめています。130年の追憶はフルカラーの冊子で、各時代の本学の様子を写真で紹介しています。

これらの資料はすべて非売品で、博物館では大学史資料として保管するとともに、展示や博物館が発表する文書作成の折などに参考資料として活用しています。

（スタッフ 廣瀬）

#日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 当館の歴史系展示室の展示内容と同じく、本学の歴史を各学校ごとにまとめて紹介しています。
- ② 日本獣医生命科学大学創立百三十年記念誌では、各研究室の歴史がまとめられていて、それぞれの研究室に所属されていた歴代の先生方を調べることができます。教育年表は特定の出来事がおきた正確な年の確認に用いています。ともにA4サイズです。
- ③ A4サイズの薄い冊子です。各時代の大学の様子が写真で紹介されていて、博物館で収蔵している資料が使われていた様子などが把握できます。

【年末のご挨拶】

本日が年内の最終更新となりましたので、今年の主な活動を振り返りたいと思います。

2015年に「附属ワイルドライフ・ミュージアム」として開館した当館ですが、今年の4月には獣医・畜産・生命科学の総合博物館を目指して「附属博物館」へと改称しました。6月からは企画展の準備が始まり、8月のプレオープンを経て、11月から正式に「日本獣医生命科学大学附属博物館 第1回企画展 キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」の公開が始まりました。この間、本学で学芸員課程を受講する学生の実習の受け入れや、入試イベントに合わせた特別開館、団体見学の受け入れも行っています。また、今年度は古い動物標本の保護にも力を入れ、キリン「長次郎」の骨格標本の補強や、謎の海獣剥製の正体に迫る調査を実施しました。

当館はCOVID-19の流行や建物の工事の影響による約2年半の長期休館を経て、昨年の10月に見学の受け入れを再開しました。今年は昨年に比べ多くの方にご来館いただき、8月のオープンキャンパスでは2日間で886名の方に、11月の大学祭では1,377名の方に展示を見ていただくことができました。また、予約制での個別見学者数も例年以上となっています。ご好評頂いている企画展は、来年5月31日までご覧いただくことができます。また、来年4月13日には、企画展関連イベントとして「キリン講話会」を開催いたします。今後の当館の活動にぜひご期待ください。

なお、明日12月29日から年明け1月5日までの間は冬季休館期間となっています。年末年始の休業に関する詳細情報は、博物館公式サイトをご参照ください。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館

2023年12月28日の記事

■【休館情報】年末年始の休業日について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231124-2.html/>

年末年始の休業についてはこちら

■【展示紹介】日本獣医生命科学大学附属博物館 第1回企画展 キリンが来た道～麒麟児長次郎の歩み～

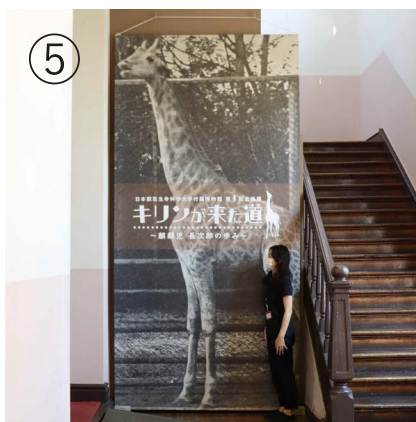
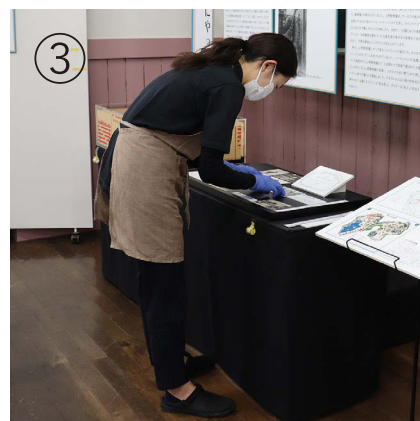
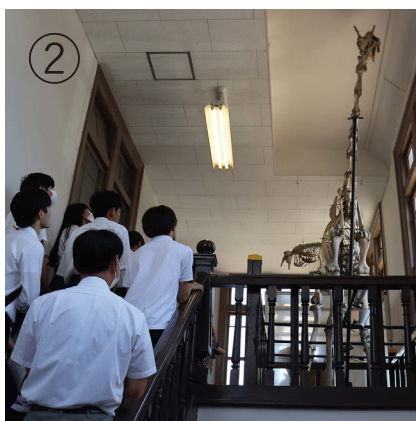
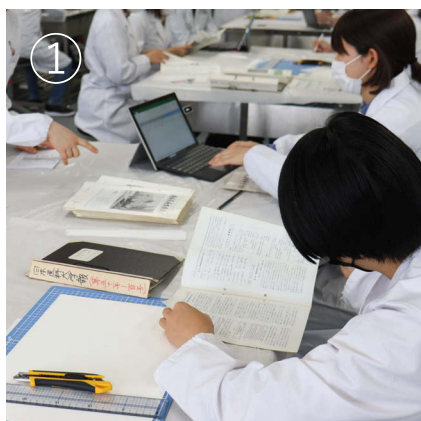
<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231023-01.html/>

企画展の詳細はこちら

■【イベント情報】<第1回企画展開催記念>キリン講話会(2024.4.13)

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20231023-02.html/>

講話会の詳細はこちら





- ① 5月：【活動日誌128】学芸員課程受講生による実務実習が始まりました
<https://tinyurl.com/44fwh36s>
- ② 7月：【活動日誌139】高校生の団体見学を受け入れました
<https://tinyurl.com/2mpw38z4>
- ③ 8月：【活動日誌146】企画展のプレオープン直前になりました
<https://tinyurl.com/7hz3zzax>
- ④ 9月：【活動日誌151】剥製のレントゲン撮影
<https://tinyurl.com/54knwhyk>
- ⑤ 10月：【活動日誌159】キリンの等身大のペストリーを設置しました
<https://tinyurl.com/y8h2wdpw>
- ⑥ 11月：【活動日誌166】キリン骨格標本の補強工事を行いました
<https://tinyurl.com/3rrcmuef>
- ⑦ 12月：【活動日誌168】小学生による団体見学を受け入れました
<https://tinyurl.com/mrv9fnsz>